

---

## 活動の概要

学内ネットワーク等のシステム関係の機器やサービス等の調整等を実施した。また、名工大の先生らと共同研究等を行った。

---

## 学内での活動

### 1 情報学基礎の担当

情報学基礎を安藤先生、小林孝浩先生らとともに担当した。授業では加速度センサーを使った遊びを考えて、大垣市内にある東幼稚園の園児らとともにワークショップの検討・実施を試みた。

日時：2017年5月2日（月）～5月19日（金）まで

#### ■実施場所

大垣市立東幼稚園 5月8日：見学、5月16、18日：ワークショップの実施

### 2 システム委員会

学内ネットワークや、学内サービス等のシステムに関する業務や、ネットワーク保守業者等との定例会などに関わった。また、岐阜大垣ビエンナーレ 2017（会期：12/19～12/24）でセミナーホールのイベント（12/19）の回線準備や、IAMAS 2018（期間 2/22～2/25）のネットワーク環境も利用できるように環境を整備するなど、ソフトピアジャパンの指定管理者・学生らと共に連携して行った。

### 3 ネットワークの運用・調整などについて

本学のネットワークの運用や保守など、ネットワーク環境の不具合・セキュリティ対応や利用方法の調整を業者らと検討し実施した。

### 4 岐阜大垣ビエンナーレ 2017 のアーカイブサーバについて

岐阜大垣ビエンナーレ 2017 でアーティストの作品をアーカイブするサーバの準備に伊村先生、松井先生、卒業生の池田さんらと行った。

---

## 学内外での活動

### 1 日本職業リハビリテーション学会にて就労支援を目的としたタブレット端末アプリ等について発表

昨年度までの研究会で取り扱ったアプリの内容や効果などを日本職業リハビリテーション学会第45回栃木大会にて発表をした。

会期：2017年8月25日（金）～26日（土）

発表：2017年8月25日（金）

タイトル：特別支援学校におけるタブレット端末等の機器を利用した環境のあり方について

場所：作新学院大学

### 2 「パナソニック研究財団平成 28 年度特別研究指定校」による実践研究の研究者として参加

岐阜県立郡上特別支援学校が道の駅にて行っている生徒たちの出前喫茶についてこれまで実施したことからアドバイス等を行った。

日時：2017年5月26日（金）、2018年3月2日（金）

場所：古今伝授の里道の駅やまとギャラリー

### 3 新たな技術を福祉にいかす体験ワークショップに参加

大学関係者や就労支援施設等の福祉関係者のメンバーとともに IoT 等の技術を現場で活かすにはどのようにしたらいいのかをテーマにしたワークショップに参加した。

日時：2017年9月6日 情報科学芸術大学院大学 イノベーション工房

### 4 感性情報等を扱った研究（共同研究）

名古屋工業大学 中村先生、中京大学 加納先生らと共にロボットにおける感情をどのように捉えるか、ロボットと人間が共生するためのキーとなる感性情報や接触等についての共同研究を行った。

---

## 学外での教育活動

### 1 大垣市総合計画審議会の委員として参加

大垣市が策定する大垣市未来ビジョンに基本構想（平成 30 年度から平成 59 年度までの 30 年間の構想）等の策定に関わった。

### 2 朝日大学歯科衛生士専門学校で講師

朝日大学歯科衛生士専門学校で、非常勤講師として「情報処理」の講義を担当した。

---

## 発表論文など

- [1] 山田晃嗣、渡辺崇史：「特別支援学校におけるタブレット端末等の機器を利用した環境のあり方について」日本職業リハビリテーション学会第 45 回栃木大会プログラム・抄録集、pp42-43, Aug. 2017
- [2] 湯澤大樹、山田晃嗣、前林明次、小林孝浩：「心臓の音を利用したレクリエーションの提案－メディア表現を用いた支援学校での取り組み－」ATAC カンファレンス 2017 京都プロシ－ディング pp3-5, 口頭発表、Dec. 1, 2017
- [3] Yuri Yamada, Gou Kayama, Tsuyoshi Nakamura, Kazuya Endo, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Black-and-White Drawing support for Adobe Illustrator using Onomatopoeia, 2017 IEEE International Conference on Fuzzy Systems (FUZZ-IEEE2017), Naples, Italy, July 9-12, 2017.
- [4] Yukihiro Yoshida, Daiki Sekiya, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh and Koji Yamada: Hearing-Dog Robot to wake People up using its Bumping Action, International Conference on Computational Science/Intelligence & Applied Informatics, Hamamatsu, Japan, July 9-13, 2017.
- [5] Hoshito Kudo, Satoshi Tanaka, Yukihiro Yoshida, Tsuyoshi Nakamura, Masayoshi Kanoh, Koji Yamada, Daimu Oiwa, Yuji Iwahori and Shinji Fukui: Estimation of User Location for Hearing-Dog Robot, Joint 17th World Congress of International Fuzzy

Systems Association and 9th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems (IFSA-SCIS 2017), Otsu, Japan, June 27-30, 2017.

- [6] 児玉涼次, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: DCGAN を用いたイラスト事例からの画風の再現, 第 31 回人工知能学会全国大会, 3H1-OS-04a-3, 2017.
- [7] 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴を用いたオノマトペの用法分類に関する一考察, 第 31 回人工知能学会全国大会, 2G4-3, 2017.
- [8] 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴を用いたオノマトペの分類に関する一提案, 第 43 回東海ファジィ研究会, 2017.
- [9] 吉田行宏, 工藤星人, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットにおける行動モデルの構築, 第 43 回東海ファジィ研究会, 2017.
- [10] 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴を用いたオノマトペの分類に関する一考察, 第 33 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2017.
- [11] 竹内なつみ, 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴量を用いた擬態語の意味的用法分類, 第 33 回ファジィシステムシンポジウム, in CD-ROM, 2017.
- [12] 竹内なつみ, 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴量を用いた擬態語の意味的用法分類に関する一考察, 第 15 回情報学ワークショップ, 2017.
- [13] 浦田大貴, 竹内なつみ, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音響特徴を用いたオノマトペの意味的用法分類, 第 15 回情報学ワークショップ, 2017.
- [14] 澤村勇輝, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: オノマトペを用いた毛筆フォントデザインの一効率化手法, 第 44 回東海ファジィ研究会, P3-09, 2018.
- [15] 宮木稜司, 吉田行宏, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: ロボットの接触行動を用いた意図伝達・喚起に関する一調査, 第 44 回東海ファジィ研究会, P3-03, 2018.
- [16] 近藤澄弥, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 自律移動ロボットにおける強化学習を用いた大規模な入力空間自律移動ロボットに対する行動規則獲得, 第 44 回東海ファジィ研究会, P2-03, 2018.
- [17] 古田翔太郎, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 聴導犬ロボットにおける人の生活リズムを考慮したユーザの探索, 第 44 回東海ファジィ研究会, P1-06, 2018.
- [18] 竹内なつみ, 浦田大貴, 中村剛士, 加納政芳, 山田晃嗣: 音象徴を用いた擬態語の意味的用法分類に関する一調査, 第 44 回東海ファジィ研究会, P2-02, 2018.